

労働市場の変化と人材育成

——日独比較の考察——

2025年 **3/13** (木曜)

視聴無料 (要申込)

我が国において人手不足が大きな課題となる中、政府は、「ジョブ型人事」の導入、リ・スキリングによる能力向上支援、成長分野への労働移動の円滑化から成る「三位一体」の労働市場改革の早期実行を掲げています。世界の主要国の中でも、職務や職業に基づく労働市場が最も発達した国の一つであるドイツには、そうした労働市場を実現するための社会経済の仕組みが備わっています。本フォーラムでは、主に人材育成の分野において、ドイツのソーシャルパートナー（労働組合、使用者、政府）が、デュアルシステムを始めとする育成プログラムをいかに支えてきたのか、その背景にどのような思想があるのか、また、技術変化や労働者の就労意識の変化など近年の課題にどのように取り組んでいるのかについて紹介するとともに、日本との相違・共通点や示唆を考察し、我が国の労働市場と人材育成を取り巻く課題と展望について議論します。

開催概要

開催日 2025年3月13日（木曜）13:50 - 17:15
主催 独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）
後援 日本労使関係研究協会（JIRRA）
開催方式 オンライン（Zoom ウェビナー） **ライブ配信**

プログラム

都合によりプログラムの内容が変更になる場合があります。

13:50 ▶ 15:05 第1部 特別講演・研究報告

開会挨拶

藤村 博之 労働政策研究・研修機構 理事長

特別講演

ドイツにおける労働市場の変化と人材育成 ※日英同時通訳付

ゲアハルト・ボッシュ (Gerhard BOSCH)

デュースブルグ＝エッセン大学 社会学部 教授／労働・職業資格研究所（IAQ）上級教授

研究報告

日本の労働市場の変化と能力開発、キャリア形成

佐藤 厚

法政大学 キャリアデザイン学部 教授／日本労使関係研究協会 会長

15:15 ▶ 17:15 第2部 パネルディスカッション

労働市場の変化に人材育成はどうあるべきか—課題と展望



佐藤 厚
法政大学教授



中村 天江
連合総研主幹研究員



ゲアハルト・ボッシュ
デュースブルグ＝エッセン大学教授



山内 麻理
国際教養大学客員教授



藤村 博之
JILPT理事長

パネリスト

ゲアハルト・ボッシュ (Gerhard BOSCH)

デュースブルグ＝エッセン大学 社会学部 教授／労働・職業資格研究所（IAQ）上級教授

佐藤 厚

法政大学 キャリアデザイン学部 教授／日本労使関係研究協会 会長

中村 天江

連合総合生活開発研究所 主幹研究員

藤村 博之

労働政策研究・研修機構 理事長

コーディネーター

山内 麻理

国際教養大学 客員教授

